

2020年9月

2020年度 後期講座 主催 (株)森上教育研究所

講師 竹内洋人 みんなの算数オンライン <https://www.min-san.com/> 主宰
算数オリンピック大会顧問・問題選定委員

平面図形を得点源にする学び方と攻略法

- | | | | |
|----|----------------------|----|---------------|
| 1 | 分野別出題傾向 | 13 | A 合同とおうぎ形 |
| 2 | どのような問題が出題されるか | 14 | A 相似・面積比 |
| 3 | 平面図形の出題傾向 | 15 | A 台形と相似 その① |
| 4 | 問題概要と攻略の指針 | 16 | B 台形と相似 その② |
| 5 | C 最新入試問題で難しい問題を見てみよう | 17 | B 矢印型(メネラウス型) |
| 6 | A 超入門 同位角・錯角・対頂角 | 18 | A 正六角形 |
| 7 | A 外角の利用 | 19 | B 図形と比例式 |
| 8 | A 星型多角形 | 20 | B 平行線を引く |
| 9 | B マス目と角度 | 21 | B 回転移動 |
| 10 | B 円と角度 | 22 | 過去問実践演習問題 |
| 11 | A 三角定規の利用 | 23 | おすすめ問題集 |
| 12 | B 初見の問題にどう向き合うか | | |

セミナーシリーズ

- ① 立体図形
- ② 数の性質
- ③ 規則性
- ④ **平面図形**
- ⑤ 場合の数
- ⑥ 速さ

タイトルナンバーの右の A, B, C の表記について。

A : 全員必須 (受験本番までに絶対マスターすべき)

B : 上位~難関校で差を付ける (Aの理解が優先)

C : 最難関校で差を付ける (A Bの理解が優先)

※ 練習問題に付いたA~Cの表記も同様の基準です。

練習問題 B ※ 5年後半～

暁星 2013

右図のようなすべてのマスが正方形である方眼紙に角ア，イを作ります。ア+イは何度ですか。

右図のように上に **1段付け足す** ← これがあるだけで正答率が下がる。

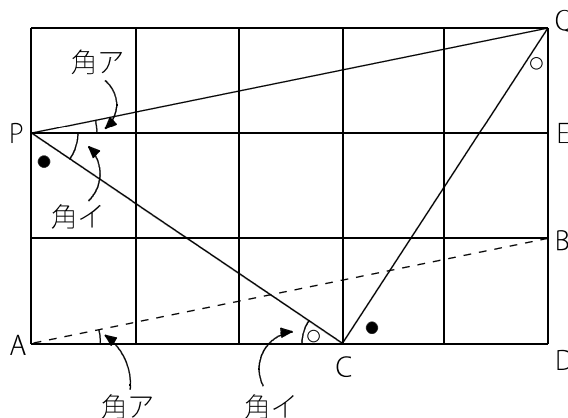
ABに平行な線PQを引き、CとQを結ぶ。

角アと角QPEは同位角なので

角ア = 角QPE

角イと角CPEは錯角なので

角イ = 角CPE



よって **ア+イ = 角CPQ** ← 要はこれを求めたら終わり。ということ。

△ACPと△DQCは2辺とその間の角(90度)が等しいので合同。

※ AP = DC , AC = DQ , 角PAC = 角CDQ = 90度

よって CP = CQ なので **△CPQは二等辺三角形** であることがわかる。

角ACP = ○, 角APC = ● とする。○ + ● = 90度。

△ACPと△DQCは合同なので 角DCQ = ●

角ACP + 角DCQ = ○ + ● = 90度 なので 角PCQ = 180 - 90 = 90度

よって **△CPQは直角二等辺三角形** であることがわかる。

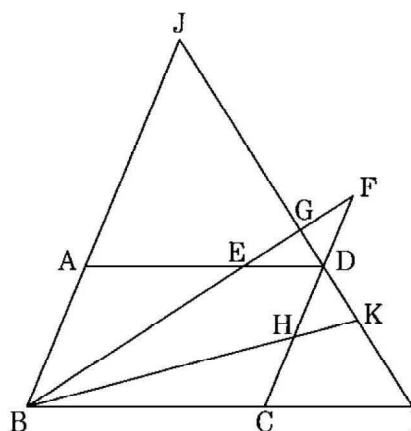
ア+イ = 角CPQ = (180 - 90) ÷ 2 = **45度 答え**

練習問題 B ※ 6年～

栄東A 2019

右図のように平行四辺形 ABCD に対して、
 $AE : ED = 2 : 1$ となるように点 E をとり、
 BE と CD の延長線の交点を F とします。
 FE の真ん中の点を G, CD の真ん中の点を
 H とし, BC, BA, BH の延長線と GD の延
 長線の交点をそれぞれ I, J, K とします。

このとき, 次の問いに答えなさい。



- (1) $GE : EB$ を最も簡単な整数の比で表しなさい。
- (2) $DH : JB$ を最も簡単な整数の比で表しなさい。
- (3) 三角形 DHK と四角形 HCIK の面積比を最も簡単な整数の比で表しなさい。

(3) を余裕で処理できるようにしましょう。

(1)

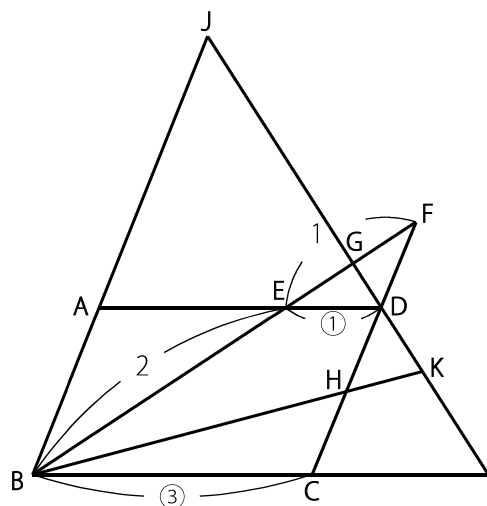
$AD = BC = ③$ とします。

$AE : ED = 2 : 1$ なので $ED = ③ \times \frac{1}{3} = ①$

$\triangle FBC$ と $\triangle FED$ の相似に着目します。

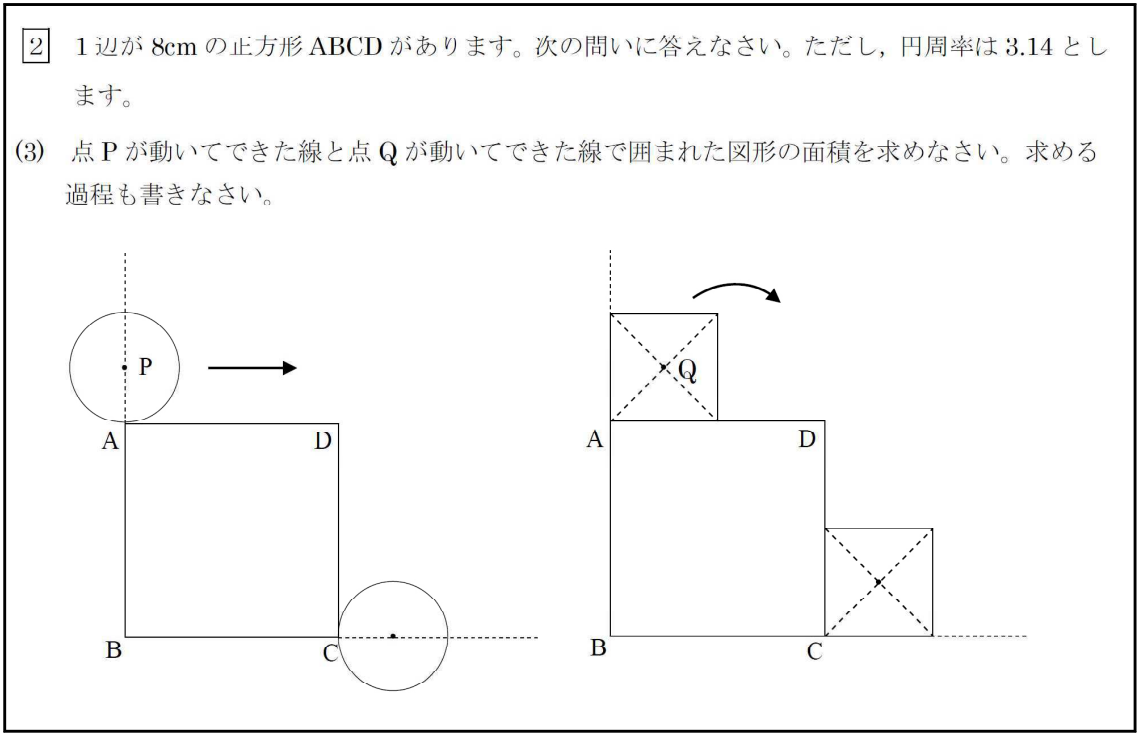
相似比は $BC : ED = ③ : ① = 3 : 1$ なので

$FB : FE = 3 : 1$ 。 よって $FE : EB = 1 : 2$



G は FE の真ん中の点です。

$EB = 2$, $FE = 1$ と考えると $GE = 1 \div 2 = 0.5$ なので $GE : EB = 0.5 : 2 = \underline{\underline{1 : 4}}$ 答え



(3)を考えます。(1)(2)は省略していますが、図のように円と小正方形が正方形ABCD上を移動する問題です。円の直径=4cm，小正方形の1辺=4cm という設定です。

作図すると右図のようになりますね。
これは単なる作業で、考えることではありません。余裕にすべきです。

小正方形の対角線の半分=○cm とする。
 $2 \times \text{○} \times 2 \times \text{○} \div 2 = 4\text{cm} \times 4\text{cm} = 16\text{cm}^2$ より
 $\text{○} \times \text{○} = 8$ です。 ※ 頻出の考え方ですね。

$$\begin{aligned} & \text{ア} + \text{イ} + \text{ウ} + \text{エ} + \text{オ} + \text{カ} \\ & = (\text{○} \times \text{○} \times 3.14 \div 4 - \text{○} \times \text{○} \div 2) \times 3 \\ & = (2 \times 3.14 - 4) \times 3 = 6 \times 3.14 - 12 \end{aligned}$$

$$\text{キ} = \text{○} \times \text{○} \times 3.14 \div 4 - 2 \times 2 \times 3.14 \div 4 = 2 \times 3.14 - 3.14 = 3.14$$

よって 囲まれた図形の面積 = $3.14 \times 6 - 12 + 3.14 = 21.98 - 12 = \underline{9.98\text{cm}^2}$ 答え

※ 医進サイエンスの 合格者正答率75%以上 でしょうね。考える問題ではありません。
解ける人からすると単なる計算問題です。少なくとも6年後半でそう思えるような実力を！

